

# CDDP+PEM併用療法

シスプラチン 75mg/m2 day1  
 アリムタ 500mg/m2 day1

適応: 非小細胞肺癌(非扁平上皮)

審査日: 2019年 10月 22日

承認日: 2019年 10月 22日

催吐リスク: **HEC**

血管外漏出リスク: **炎症性**

1サイクル期間: **21日間**

Rp	時間	薬剤	投与方法	投与時間	day1	day2	day3	day4	day5	day6	~	day21
①	9:00	イメンドカプセル125mg 1Cap	内服		●							
②	10:00~11:30	ラクテック500ml	点滴静注	90分	●							
③	11:30~12:00	生理食塩水100ml+アロキシ0.75mg+デキサート9.9mg	点滴静注	30分	●							
④	12:00~12:10	生理食塩水100ml+アリムタ	点滴静注	10分	●							
⑤	12:10~13:10	ラクテック500ml+アスパラK 10mEq+硫酸Mg 8mEq	点滴静注	60分	●							
⑥	13:10~13:40	マンニトール300ml+ラシックス20mg	点滴静注	30分	●							
⑦	13:40~15:40	生理食塩水500ml+シスプラチン(合計500ml)	点滴静注	120分	●							
⑧	15:40~18:40	生理食塩水1000ml+アスパラK 10mEq	点滴静注	180分	●							
⑨	18:40~21:40	トリフリード1000ml	点滴静注	180分	●							
⑩	フラッシュ用	生理食塩水50ml	点滴静注		●							
⑪	9:00	イメンドカプセル80mg 1Cap	内服			●	●					
⑫	10:00~13:00	生理食塩水1000ml	点滴静注	180分		●	●					
⑬	13:00~16:00	トリフリード1000ml	点滴静注	180分		●	●					
⑭	10:00	ラシックス20mg	静注			●	●					
⑮	10:00~10:30	生理食塩水100ml+デキサート4.95mg	点滴静注	30分		●						
⑯	10:00~10:30	生理食塩水100ml+デキサート3.3mg	点滴静注	30分			●					

プレメディケーション	葉酸:本剤初回投与の7日以上前から葉酸としてパンビタン末を1日1回1g連日経口投与する。なお、本剤の投与を中止又は終了する場合には、本剤最終投与日から22日目まで可能な限り葉酸を投与する。 ビタミンB12:本剤初回投与の少なくとも7日前に、シアノコバラミン注1000 $\mu$ gを筋肉内投与する。その後、本剤投与期間中及び投与中止後22日目まで9週ごとに1回投与する。
ポストメディケーション	投与翌日から2日間はハイドレーション2000ml、デキサートおよびラシックスを投与
投与・調整時に注意する点	シスプラチンは要遮光、アミノ酸輸液や乳酸ナトリウムを含む輸液との同時投与はシスプラチンの分解が起こるため避ける。

【根拠となる論文】

J Clin Oncol. 2008 Jul 20;26(21):3543-51. Scagliotti GV et al; Phase III study comparing cisplatin plus gemcitabine with cisplatin plus pemetrexed in chemotherapy-naive patients with advanced-stage non-small-cell lung cancer.